

- (1) 圧縮力 5 kg/cm<sup>2</sup>
- (2) 時間 2~3分
- (3) 温度 100°~80°

4. 成 果 製品の種類, 使用目的, 大きさ, 加工法によつて適当な接着剤を選択する  
又端部曲げ加工した場所は剝離の原因となるので接着剤は十分塗布する。  
今后新材料の利用に対し, よく研究し新用途に大いに活用すべきである。

#### (14) 竹合板の塗装研究

- 1. 担当者 工業技師 大迫常盛
- 2. 目 的 一般に竹材に使用されている, 塗料は, アミノ酸樹脂塗料が主であり, 竹合板の場合, 木材桧板と同様, 塗装工程を最少限にして竹孔をうめる塗料が必要であり, これに適する塗料の選定, 並に塗装を各様の方法で行い, 竹合板に対する塗装の効果を試みた。
- 3. 概 要
  - a 試験材 竹合板 (各種)
  - b 使用塗料
    - 1. アミノ酸樹脂塗料 マーブラック, リウタン
    - 2. ポリウレタン樹脂塗料 ポリウレタンクリアーポリウレタンサンデング
    - 3. アクリル ク フラツトコーガ
    - 4. 硝化センキ素系塗料 フラツトクリアー クリヤラツカーウッドシラ ー
    - 5. カ シ ュ ー
  - c 工 程
    - ① 下塗アミノ酸樹脂シーラー 下塗=ポリウレタンシーラー  
上 ク クリヤー 上ク=ポリウレタンクリアー若しくは平艶
- 4. 成 果 素材が決定的なものであり, 用途に応じて耐候性を考慮に入れ密着性のある塗料を選定使用した。工程も2工程で仕上げる様実施した。  
視覚的に完全とはいえないが目的に近い結果を得た。

#### (15) 新らしい塗装法の研究

- 1. 担当者 工業技師 大迫常盛  
ク 堀切政幸
- 2. 目 的 塗料は最近の化学工業の発達によつて, 新塗料が次々に出現し, 種々の特性を有し, 数多くの品種ができたので, この新塗料による新しい塗装法の研究を行つた。
- 3. 概 要
  - a 試験材 本県産材を主材とし, 和洋家具に一般に使用しているものを取りあげた。

- b 塗料 (1) ポリウレタンクリヤ (2) ポリウレタンサンディング  
 (3) ポリウレタンシーラー (4) アクリル樹脂塗料  
 (5) アミノ樹脂塗料 (6) 硝化セキ素系塗料  
 (7) ポリエス樹脂塗料 (8) チークオイル  
 (9) ウッドシーラー (10) 其 の 他

o 着色剤 水性酒精染料 目止剤

※ 工程及使用塗料については塗見本帖のとおり

4. 成 果 平滑な鏡面はブラッチク化粧板が現れ張る事で簡単であり今さら手数のかゝる塗りと同じ事は無意味である故に新塗料により、塗料の特性を生かし選択して使用に当つては塗料に対する知識が従来以上に必要であり、光沢透明度、塗肌、塗膜の強度、乾燥時間、作業性等塗料によつてそれぞれ異なるので塗装に当つて性質を十分把握する様努めた。併せて家具の基本的色彩を基準として、和洋家具塗見本帖を作成し業界に頒布した。

#### (14) 屋久杉材の薬品処理

1. 担当者 工業技師 堀之内 輝 男
2. 目的 屋久杉といえば杳目の美しいのが普通であるが、材の異色の場合未利用材が多いので、薬品処理によつて同色材に着色し、広く活用する様試みた。
3. 概要 使用薬品 塩 酸  
 過マンガン酸カリ  
 ログツド  
 重クロム酸  
 其 の 他
- 上記各種薬品を使用したか、薬品を塗布し、トーチランプ焼きのものが好結果が得られた。
- 屋久杉のもつ天然の味を損なわない程度に適量の染料と、薬品と併合する事によつて、尙一層効果があると思う。
4. 成 果 用途によつて、薬品を選択し、行ふ事により今迄利用されない異色材を、工芸的に大いに活用出来るよつてなつた。

#### (17) 屋久杉と象嵌の研究

1. 担当者 工業技師 堀之内 輝 男
2. 目的 屋久杉のもつ杳目、色沢による渋さに新建材の象嵌により近代的工芸品への着目にある。
3. 概要 象嵌の方法として